



平成26年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成25年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 広電鉄

コード番号 9033

URL <http://www.hiroden.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 棕田 昌夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 M・Sカンパニープレジデント

(氏名) 倉本 勇治

TEL 082-242-3542

四半期報告書提出予定日 平成25年8月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	9,901	0.4	533	5.4	509	10.1	537	88.8
25年3月期第1四半期	9,942	10.2	563	2.2	462	2.7	284	18.8

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 538百万円 (2,047.5%) 25年3月期第1四半期 25百万円 (89.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
26年3月期第1四半期	8.86	
25年3月期第1四半期	4.69	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	90,052	34,515	37.5
25年3月期	92,048	34,199	36.4

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 33,786百万円 25年3月期 33,479百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
25年3月期		0.00		3.50	3.50
26年3月期					
26年3月期(予想)		0.00		3.50	3.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	20,250	1.3	700	37.6	600	36.0	600	5.2	9.89
通期	40,150	3.5	700	51.3	400	64.1	1,200	13.5	19.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期1Q	60,891,000 株	25年3月期	60,891,000 株
----------	--------------	--------	--------------

期末自己株式数

26年3月期1Q	228,617 株	25年3月期	228,603 株
----------	-----------	--------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	60,662,392 株	25年3月期1Q	60,663,603 株
----------	--------------	----------	--------------

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビューの手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1．当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2．サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3．四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の各種経済対策への期待感と、日銀による新たな量的・質的金融緩和の導入により、円安・株高の基調が定着し、輸出関連企業を中心に幅広い業種で景況感が上向きしました。今後は、企業収益の改善が個人消費や設備投資の増加につながり、景気回復へ向かうことが期待されています。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、広島市が事業主体である電車の広島駅前通り線の整備や、広島県と廿日市市が事業主体である宮島口整備事業といった事業を関係機関と協力しながら推進してまいります。また、平成24年7月に工事着工した、大規模不動産開発プロジェクトである「石内東地区開発事業」についても、造成工事が安全かつ堅実に施工されるよう、工程管理を行ってまいります。

これらの将来計画を念頭に置きながら、旅客輸送におけるより一層の安全確保や、顧客へのサービス向上を図るとともに、各事業とも積極的な営業活動を展開し、収益の確保に努めました。

当第1四半期連結累計期間の営業収益は、運輸業、不動産業および建設業が増収となったものの、流通業およびレジャー・サービス業が減収となり、前第1四半期連結累計期間と比較して0.4%、41百万円減少し、9,901百万円となりました。利益につきましては、営業利益は、前第1四半期連結累計期間と比較して5.4%、30百万円減少し、533百万円となりましたが、経常利益は、支払利息や金融組成費用などの減少などにより、前第1四半期連結累計期間と比較して10.1%、46百万円増加し、509百万円となりました。四半期純利益は、見積実効税率の下落に伴い法人税等が減少したため、前第1四半期連結累計期間と比較して、88.8%、252百万円増加し、537百万円となりました。

各セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(運輸業)

運輸業におきましては、鉄軌道事業では、平成25年4月から5月にかけて開催された「ひろしま菓子博2013」が寄与し、増収となりました。自動車事業では、平成25年4月1日から中国横断自動車道・尾道松江線へ運行ルートを変更した高速バス広島松江線が順調に推移したものの、そごう呉店閉店による呉市内中心部の利用減などにより、減収となりました。海上運送業および索道業では、大河ドラマ「平清盛」の放映終了による宮島への来島者数の減少により、減収となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における営業収益は、前第1四半期連結累計期間と比較して0.3%、13百万円増加し、5,554百万円となり、人件費や修繕費の増加により営業利益は、前第1四半期連結累計期間344百万円に対し、34.5%、118百万円減少し、225百万円となりました。

(流通業)

流通業におきましては、マダムジョイ店舗のうち平成25年2月のアルパーク店閉店による店舗数の減少により、大幅な減収となりました。

また、宮島口もみじ本陣においても、大河ドラマ「平清盛」の放映終了による団体ツアー客の減少により、大幅な減収となり、併設する駐車場についても、減収となりました。サービスエリアにおいては、商品等の充実を図るなどし、増収となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における営業収益は、前第1四半期連結累計期間と比較して10.7%、331百万円減少し、2,778百万円となり、営業利益は、前第1四半期連結累計期間43百万円に対し、48.3%、20百万円減少し、22百万円となりました。

(不動産業)

不動産業におきましては、不動産賃貸業では、平成24年2月に竣工した「広島トランヴェールビルディング」が平成24年11月に全テナントの入居が完了したことや、平成24年11月に国泰寺賃貸ビルを購入したことなどにより、増収となりました。また、不動産販売業でも、既存団地の販売促進により、増収となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における営業収益は、前第1四半期連結累計期間と比較して17.8%、117百万円増加し、778百万円となり、営業利益は、前第1四半期連結累計期間96百万円に対し、112.3%、107百万円増加し、204百万円となりました。

(建設業)

建設業におきましては、公共工事の受注増により、大幅な増収となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における営業収益は、前第1四半期連結累計期間と比較して55.9%、331百万円増加し、923百万円となり、営業利益は、前第1四半期連結累計期間13百万円に対し、187.8%、25百万円増加し、39百万円となりました。

(レジャー・サービス業)

レジャー・サービス業におきましては、ホテル業では、平成25年4月から5月にかけて開催された「ひろしま菓子博2013」が寄与し、増収となりました。

ゴルフ業では、セルフプレーの増加による客単価の減少により、減収となりました。

ボウリング業では、「健康ボウリング教室」の精力的な開催により固定客が増加し、増収となりました。ゴルフ練習場においては、シニア層の来客の減少により、減収となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における営業収益は、前第1四半期連結累計期間と比較して2.6%、13百万円減少し、494百万円となり、営業利益は、前第1四半期連結累計期間60百万円に対し、28.4%、17百万円減少し、43百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産は、「現金及び預金」の減少349百万円、工事負担金等の未収金回収による流動資産「その他」の減少898百万円、主として減価償却による有形・無形固定資産の減少503百万円等により、前連結会計年度末と比較して1,995百万円の減少となりました。負債は、前連結会計年度に行った販売用マンションの建築代や設備投資額の支払いによる「未払金」の減少2,140百万円等により、前連結会計年度末と比較して2,311百万円の減少となりました。純資産は、四半期純利益の計上により、前連結会計年度末と比較して316百万円の増加となり、自己資本比率は1.1ポイント上昇の37.5%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点において、第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、前期決算発表時(平成25年5月14日)の予想を変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

当社は、当社の100%子会社である広電不動産株式会社を平成25年4月1日付で吸収合併いたしました。なお、広電不動産株式会社は前連結会計年度において特定子会社には該当していません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,229	5,880
受取手形及び売掛金	1,621	1,636
販売土地及び建物	8,631	8,534
未成工事支出金	213	407
商品及び製品	144	152
原材料及び貯蔵品	391	436
その他	1,934	1,035
貸倒引当金	7	8
流動資産合計	19,159	18,075
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	17,914	17,676
機械装置及び運搬具(純額)	4,540	4,324
土地	42,971	42,950
建設仮勘定	3	10
その他(純額)	976	956
有形固定資産合計	66,406	65,917
無形固定資産		
借地権	45	45
その他	198	184
無形固定資産合計	244	229
投資その他の資産		
投資有価証券	3,935	3,776
長期貸付金	14	15
その他	2,397	2,144
貸倒引当金	108	106
投資その他の資産合計	6,238	5,830
固定資産合計	72,889	71,977
資産合計	92,048	90,052

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,382	1,337
短期借入金	12,840	12,136
1年内償還予定の社債	479	479
未払金	3,177	1,037
未払法人税等	885	151
未払消費税等	371	253
未払費用	816	929
預り金	1,244	1,330
賞与引当金	1,050	1,691
役員賞与引当金	19	19
その他	3,219	3,359
流動負債合計	25,487	22,725
固定負債		
社債	934	934
長期借入金	12,085	12,735
再評価に係る繰延税金負債	11,684	11,677
退職給付引当金	1,632	1,627
役員退職慰労引当金	59	-
その他	5,964	5,836
固定負債合計	32,360	32,811
負債合計	57,848	55,537
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,335	2,335
資本剰余金	1,972	1,972
利益剰余金	7,150	7,488
自己株式	90	90
株主資本合計	11,368	11,705
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,079	1,061
土地再評価差額金	21,031	21,018
その他の包括利益累計額合計	22,111	22,080
少数株主持分	720	729
純資産合計	34,199	34,515
負債純資産合計	92,048	90,052

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
営業収益	9,942	9,901
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	7,493	7,447
販売費及び一般管理費	1,885	1,921
営業費合計	9,379	9,368
営業利益	563	533
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	45	51
受託工事収入	0	50
その他	34	26
営業外収益合計	80	129
営業外費用		
支払利息	103	89
持分法による投資損失	6	8
受託工事費用	0	50
その他	70	5
営業外費用合計	181	153
経常利益	462	509
特別利益		
工事負担金等受入額	147	280
その他	0	28
特別利益合計	147	308
特別損失		
固定資産売却損	-	0
固定資産除却損	0	0
固定資産圧縮損	15	109
減損損失	15	21
投資有価証券評価損	0	-
特別損失合計	32	131
税金等調整前四半期純利益	577	686
法人税等	272	130
少数株主損益調整前四半期純利益	305	556
少数株主利益	20	19
四半期純利益	284	537

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	305	556
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	279	18
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	280	18
四半期包括利益	25	538
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4	519
少数株主に係る四半期包括利益	20	19

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

区分	運輸業	流通業	不動産業	建設業	レジャー・サービス業	合計	調整額 (注)1	四半期連結損益計算書計上額 (注)2
営業収益								
外部顧客への営業収益	5,538	2,810	535	552	505	9,942		9,942
セグメント間の内部営業収益又は振替高	1	299	125	40	2	469	469	
計	5,540	3,110	661	592	508	10,412	469	9,942
セグメント利益	344	43	96	13	60	557	6	563

(注) 1 セグメント利益の調整額6百万円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要なものがないため記載しておりません。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

区分	運輸業	流通業	不動産業	建設業	レジャー・サービス業	合計	調整額 (注)1	四半期連結損益計算書計上額 (注)2
営業収益								
外部顧客への営業収益	5,552	2,473	654	730	491	9,901		9,901
セグメント間の内部営業収益又は振替高	2	305	124	192	3	628	628	
計	5,554	2,778	778	923	494	10,530	628	9,901
セグメント利益	225	22	204	39	43	534	1	533

(注) 1 セグメント利益の調整額 1百万円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要なものがないため記載しておりません。